

第18回羽田再拡張事業に関する県・市町村連絡協議会における
国土交通省の説明に対する見解について（千葉市長コメント）

本日、国土交通省から羽田再拡張事業に係る航空機騒音問題の対策として、騒音の大きなジャンボジェット機を前倒しで退役させること、現在試行運用している南方面から本市上空に飛来する飛行ルートへの飛行高度の引上げを年内に本格運用とするとともに北方面から飛来するルートについても高度引上げの検討を開始することなどの説明があり、本年2月に私が国土交通大臣に直接申し入れたことが一部実現され、一定の評価をします。

しかしながら、国土交通省は来年3月にはさらに3万便の増枠を予定しており、航空機騒音に悩まされている飛行ルート下の住民の方々のことを思うと、抜本的な解決策が必要と考えております。

本市としては、引き続き、北ルートへの高度引上げの早期実施を強く求めるとともに、海上ルートへの移行や飛行ルートの分散化による首都圏全体での騒音の共有化について、早急な実現を求めて参ります。